



平 土 第 156 号
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

平川市長 外 川 三 千 雄



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記について、別紙のとおり提出しますので、宜しくお取計い願います。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

青森県平川市

○ 除排雪事業対策について

積雪寒冷地域では、例年の降雪により社会経済活動に大きな影響を受けており、総合的な雪対策を推進することが不可欠であるが、除排雪経費に多額の予算が支出され、財政的に大きな負担となっています。

よって、雪国の快適で安全な地域づくりを推進するため、市町村道の除排雪費に係る安定的な財源確保や補助制度の拡充及び除雪機械整備費に係る補助事業の要望枠や補助率の拡大について、要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

青森県平川市

②-1 地域の現状と抱える課題

○ 現状

市道改良の要望について、各地域から数多く寄せられていますが、財源確保に大変苦慮しています。

また、道路橋について、老朽化する橋梁の増大に対応するため、修繕及び架替えに係る費用の確保が不可欠である。

○ 課題

要望された路線の殆どが、幅員は狭く延長も短いなどで補助採択基準を満たしていないので、市単独事業によるため早期の整備が困難となっている。

このことから、地域の実情にあった道路整備を推進するために、採択基準が緩和されることが望まれる。

また、老朽化する橋梁の修繕計画における、補助採択基準を満たす橋梁は1割程度であることから、補助対象橋梁の拡大も望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

青森県平川市

②-2 地域の目指すべき将来像

○ 地域の実情にあった道路整備が補助採択されることにより、安定した財源確保となり、コスト縮減を図りながら早期に地域の要望に応えられる。

また、橋梁の長寿命化と橋梁の修繕及び架替えに係る費用を確保しつつ、地域の道路網の安全性が図られる。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④-1

青森県平川市

○ 重点事項 交通の利便性の向上	○ 代表事例 碓ヶ関地域(古懸) 市道103号線道路改良 (地域の実情にあった道路整備)	○ 期待する効果や評価等 市内へ連絡する幹線的な生活道路として、津軽三不動に数えられる古懸山不動院国上寺へ通じる道路としても、重要な路線である。 また、道路の構造基準の全てを適用するのではなく、1.5車線的な道路整備を行うことにより、建物等の移転費が削減となりコスト縮減が図られる。	○ その他 起点側は平川への橋梁の架替え、国道7号への接続の計画を予定しているので関係機関への支援を要望して行きたい
--------------------------------	--	--	--

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④-2

青森県平川市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
地域活力の向上	碓ヶ関地域(旧碓ヶ関村)バイパス建設について ● 他市町村を見るとバイパスが建設されることにより、沿道に商工業施設等ができ地域に活力を与えている。	● バイパスの整備により、誘致企業等の新たな商業地域もできる。これにより、地域に活力をもたらし、雇用も創出され人口も定着する。	
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	● 現在市街地を通る国道には歩道がないため、歩行者が通行するつど危険にさらされている。	● 現状では、歩道を設置するスペースがないため、造ろうとすると移転に多額の費用が伴う。	
少子高齢社会に対応した子育て環境 バリアフリー社会の形成	● 地域に職場がないため、若い人たちが市外に転出し、ますます少子化に拍車をかけている。	● 若い人たちが、定住すれば自然と少子化は解消される。	